



ご近所どうしで助け合い 安全・安心・快適なまちづくり

富士見が丘地区では、連合自治会や地区社会福祉協議会をはじめ、福祉、保健等の関係団体、施設などの代表で構成する「富士見が丘地区地域福祉保健計画推進委員会」が、意見を出し合い、地域福祉保健計画の実現を目指して活動をしています。

富士見が丘地区の第2期地域福祉保健計画（平成22年度～27年度）では、

- 高齢者が生きがいをもてるまちにしよう！
- 地域の中で「障がい」に対する理解を深めよう！
- 身近な場所で健康づくりを進めよう！
- 地域で子育てを応援しよう！
- 要援護者支援の体制づくりを進めよう！ を目標にしています。

平成24年度は下記の活動を重点に進めます。

- 1 富士見が丘地区のさまざまな福祉保健活動をわかりやすく紹介します。（PR）**
 - ・ 地区内団体の主なイベントや活動スケジュールを取りまとめ、カレンダー形式で表示し、参加団体、施設に配布します。
 - ・ パンフレット集『わたしの町には～富士見が丘地区活動団体・施設紹介～』と併せてPRを行います。
- 2 世代を超えた参加と団体同士の交流をすすめます。（参加・交流）**
 - ・ 子育てをはじめ、高齢者、障がいのある人への支援、健康づくりなどの活動に世代を超えた参加を求め、さらに、団体間の交流を進めます。
 - ・ 地区経営委員会が進めている、災害時要援護者支援に取り組めます。要援護者の把握に努め、支援者として多くの人に参加できるよう登録者を増やします。
- 3 介護をしている人達が集う機会をつくります。（介護のつどい開催）**
 - ・ 寝たきりや認知症の高齢者等を介護している人や、介護に関心のある人が交流することで介護の励みにしていただくため、介護のつどいを開催します。
- 4 障がいがある人たちと地域での交流を深めます。**
 - ・ 富士見が丘地区内の障がい児・者施設と近隣の人たちとの交流機会を増やします。
 - ・ 地域のイベントにご招待するなど、コミュニケーションの場をつくります。